

た + す + と

2009年3月

第5号

市民活動や地域活動をしている方、
これからしたいと思っている方に役立つ
情報を隔月で発信しています。

●もくじ●

P 2～3 たがサポを拠点に活躍中！～共同事務室入居団体紹介②

たがじょう市民活動推進会議 NPOゲートシティ多賀城

P 4～5 あなたの学びが地域を変える！『市民活動のススメ』開催報告

一人ひとりの思いをつなぐ「地域づくり」のコツ

P 5 たがサポブックレビュー「新・共感のマネジメント」

P 6 スタッフがおすすめする！たがサポミニ活用術

市民活動お役立ち情報

『たがサポ』とは？

『たがサポ』の機能って？

今月のひとコマ



『たがサポ』に足を踏み入れたら、
まずはここに注目です！

→詳しくは下のコーナーへ

『たがサポ』に来館した際は、まず玄関を入ってすぐ左側の掲示板をご覧ください。

掲示板にはこんな情報があります。

★貸室を利用して行われる、各団体の行事名とお部屋のご案内

→『たがサポ』に着いたはいいいけれど、自分が参加する催しはどこの部屋でやっているのかわからない！

そんなときにはこちらをご確認ください。もちろんスタッフもご案内いたします。

★『たがサポ』で行う講座や交流会などのご案内

→これから行う講座などの開催案内や内容をお知らせしています。共同事務室やロッカーの利用団体募集情報、新サービスのご案内なども掲示しています。たがサポスタッフから利用者のみなさんへ、ぜひお知らせしたい情報がこちらにあります。

★2階共同事務室入居団体の在室確認

→2階共同事務室に入居団体の方が在室しているときには、団体名の横に在室マークがついています。

たがサポを拠点に活躍中！～共同事務室入居団体紹介②

当センターの2階には、市民活動団体の簡易事務所として活用できる事務用ブースがあります。この事務用ブースを拠点としながら、さらにステップアップしようと活動する入居団体を紹介していきます。
第2回目は「たがじょう市民活動推進会議」と「NPOゲートシティ多賀城」さんにお話を伺いました。

学びを広げる！市民活動を支える人たち

たがじょう市民活動推進会議

●きっかけは熱い思いと出会い

平成17年、多賀城市では市民活動促進の方策を考えるために市民と多賀城市職員向けに公募を行い、各10名ずつ、合計20名に検討を依頼しました。この20名で市民活動の促進に向け、計10回の会議を行い、提言書にまとめ、市に提言を行いました。提言を受け、市は平成18年に「市民活動促進指針」を策定しています。

約10ヵ月にわたる会議が終わるときにもメンバーは市民活動に対して熱い思いを持ち続けたままの状態でした。「このメンバーでもう少し学びたい！」「勉強を活かしこの先も市民活動を推進していきたい」「市民活動が活発な多賀城になればいいな」という思いから現在の『たがじょう市民活動推進会議』が設立されました。現在も当時のメンバーの中から環境や子どもの分野で活動している方など15名が活動しています。

●担い手のスキルアップをめざして

活動の柱は、メンバー内の市民活動についての学びと情報交換会の実施、学んだことを市民に広めていくセミナーの実施、市民活動団体の交流会の実施です。

今年度は昨年11月～12月にかけて「リーダーシップとコミュニケーション～よりよい組織運営を目指して～」と題して5回連続セミナーを開催しました。このセミナーは「何よりも市民活動を行う『担い手』が自らの思いを実現するスキルを身につけていくことが一番大切だ」という思いからテーマ設定しました。今までの活動経験から1回2時間のセミナーだけでは本当に伝えたいことが伝えられない、学びが活かせないと考え、セミナーを組み立てました。今回のセミナーには10数名程度の参加者が座学だけではなく、お互いに

体験しながら団体運営に役立つコミュニケーションを学びました。

●思いがカタチになった『たがサポ』

「多賀城にも市民活動を支援するセンターがあったらいいな」と考えていた中で、『たがサポ』が昨年6月に開館したことについて、自分たちの思いが形になりとてもうれしく感じているそうです。「『たがサポ』のサービスの中でも、レターケースはさまざまな団体との情報交換ができることがすばらしい」と今回お話を伺った千葉さんは話してくれました。

●多賀城の活動を支えていくために

たがじょう市民活動推進会議が設立して3年が過ぎたこと、『たがサポ』ができたことで、改めて団体の活動方針を検討していきたいと考えているそうです。

また、今後も活動をしている方のニーズに合わせたセミナーを開催していく予定で、今年度最後となるセミナーが3月末に予定されています。「こんなセミナーを聞きたい！」と思っている方はぜひ問い合わせてほしいとのこと。



←セミナーの様子。ワークなどで体験しながら学びました。

たがじょう市民活動推進会議

〒985-0873
多賀城市中央2-25-3
多賀城市市民活動サポートセンターレターケースNo. 2
TEL: 070-5097-1010 (幹事: 千葉)
FAX: 022-309-3706
E-mail: akichi10@yahoo.co.jp

◎市民活動共同事務室とは

市民活動団体が簡易事務所として活用できる事務用ブースを備えています。パーティションで仕切られている中に、事務机とイスを用意しています。ちょっとした事務作業やパソコンを持ち込んだデスクワークも可能で、開館時間内ならいつでも利用できます。1カ月の使用料は1000円。入居団体はここを拠点としながら、3年間の入居期間中に自立をめざし、『たがサポ』のさまざまな機能を活用しながら活動しています。



多賀城再発見！ 史跡を活かしたまちづくり

NPOゲートシティ多賀城

●史跡を活かしてまちに賑わいを

NPOゲートシティ多賀城（以下、GCT）は、多賀城跡をはじめとする史跡を活かし、魅力と賑わいのあるまちづくりを推進するために活動している団体です。GCTの発足は、平成18年「（仮）史跡を活かしたまちづくりを考える会」という懇談会から始まりました。最初は15名ほどで始まった活動も、今では62名の会員がそれぞれの得意なことを活かしながらプロジェクト形式で活動に関わっています。会員は多賀城市内に限らず、塩釜や七ヶ浜、仙台などにもおり、年齢層も20代から70代と幅広い世代で構成されています。

GCTは、会議室、印刷機、パソコンなど、事業に合わせて『たがサポ』の機能を積極的に活用しつつ、今年度は、あやめまつり史跡探索ツアー、外郭南門跡での「万葉茶屋」オープンなど、史跡を活かした独自の活動を展開しました。

●市民で再現、政庁へのみち

今年度、GCTが取り組んできた多くの活動の中に“多賀城政庁跡の大路標示事業”があります。政庁跡へつながる大路の両側に約1万株ものコスモスを咲かせる活動です。苗植えや水やり、草むしり等の管理を地道に続けながら、昨年10月に無事、花を咲かせることに成功しました。この活動はGCTの会員以外も含め総勢200人にのぼる市民の手によって行われたのです。

多くの市民がこの活動に参加することで、史都多賀城への関心や愛着を持つきっかけとなり、多賀城の歴史とこれからのまちづくりを考える機会になってほしいという、GCTの思いを形にした事業といえます。来年度は、春から秋までの季節に対応できるよう花

の種類を増やそうと計画しているそうです。

●感動を与える史跡のまちへ

「何もないところ」「観光客が置いていくものはゴミだけ」など、否定的な意見も聞かれる多賀城市。史跡に関心のある観光客にとっては魅力的なまちですが、そこで暮らす人たちにも感動を与えられるようなまちづくりが必要、とGCTは現状に強い危機感を持っています。多賀城にふさわしい雰囲気を作り上げていくために、南門や大路の復元も方法のひとつではないか、という議論がGCT内部でもされています。

もっとも大切なことは、行政や有識者に頼るのではなく「歴史まちづくり法」(※)等を活用しながら市民が積極的に関わられるまちづくりを進めることだそうです。市民を巻き込んだGCTの活動、みなさんもいっしょに多賀城の魅力を発信していきませんか。

※歴史まちづくり法…昨年11月に施行され、全国の市町村を対象に歴史上価値の高い建造物や歴史、伝統を反映した人々の活動を後世に継承しながらすすめるまちづくりを国が支援するための新たな制度。



←政庁跡につながる大路をコスモスの花でいっぱいになりました。

NPOゲートシティ多賀城

〒985-0873
多賀城市中央2-25-3
多賀城市市民活動サポートセンターレターケースNo. 6
TEL: 090-8258-6862
FAX: 022-309-3706

あなたの学びが地域を変える！『市民活動のススメ』～私たちのまちの将来設計～ 開催報告 一人ひとりの思いをつなぐ「地域づくり」のコツ

生涯学習をはじめとする「学び」の力が、いま、まちづくりの担い手として注目されています。市民のみなさんが持っている学びの成果を「町内会・自治会」そして「NPO」など市民活動団体の活動と結びつけることで、多賀城をもっと元気なまちに変えていくきっかけとなるよう、このイベントを企画しました。講演の内容を中心に、当日の様子をお伝えします。

日時：平成21年2月7日（土）
午後1時30分～3時30分
会場：多賀城市文化センター
小ホール

【講師】

高崎経済大学地域政策学部地域づくり学科
准教授 櫻井常矢さん

講師の櫻井さんは、大崎市や山形県などの自治体を中心に住民自治・市民協働に関する政策アドバイザーを務めています。また、日本社会教育学会の常任理事も務め、社会教育や生涯学習の視点からまちづくりについて研究を進めています。

講演は、櫻井さんが関わってきた事例を盛り込みながら進んでいきました。



●なぜ今、地域づくりなのか

分権型の地域づくりが進み、地域のことは地域自らの力で、そして行政との協働を通して支えていく必要があります。また、高齢化による一人暮らし世帯の増加、犯罪の増加、子育て、環境など、地域には行政だけでは対応できない多様な課題が増加しています。「地域づくり」とは地域の課題を解決することそのものなのです。

●地域づくりは人間関係づくり

阪神淡路大震災の時に、公民館活動が盛んだったり、お祭りや行事を活発に行っていた地域ほど、亡くなった人が少なかったという事例があります。これはお祭りや行事を通し

て地域の人間関係を育ててきた結果ではないでしょうか。災害時だけでなく、地域の多様な課題を解決していくには、地域の人間関係づくりが重要なのです。

●生涯学習とは？

生涯学習は、地域の人間関係を紡ぎながら、生活課題や地域課題を解決していくための学びや活動のことをいいます。自分だけの閉ざされた学びになりがちな現代の生涯学習を地域にひらく・活かすことが必要です。例えば、ガーデニングの技術を学び、自分の家の庭をつくることで終わるのではなく、地域の公園の花壇づくりにも取り組みをひろげていくと、地域づくりの一步としてひろがっていきます。

無理をして地域に出ていく必要はないですが、地域の暮らしを支える学びという本来の生涯学習の意味をあらためて確認しておきたいと思います。

●地域づくりのコツ

◎地縁と志縁をつなぐ

地域で活動している市民団体には、行政区や自治会などの「地縁型共同体」、市民活動団体やNPOなどの「志縁型共同体」の2つがあります。

地縁型は、回覧板など全戸対象の情報網を持っていること、地域の合意を取りまとめることが得意です。しかし、担い手の高齢化、地縁の外の人とつながりにくいという弱みもあります。

志縁型は、明確な目的を持っているために実践力があります。テーマのもと、市町村の枠を越えて活動ができたり、人が集まってくるといった強みを持っています。一方で特定のメンバーに限られ広がりにくいという弱みもあります。

地縁と志縁を分けて考えるのはもったいな

いことです。これからは地縁の活動の中にテーマを設けることで、今まで自治会・町内会の活動に参加していなかった人たちも参加しやすくなるという工夫もできるのです。

◎話し合いで目的を明確に

地域づくりは、「何のための地域づくりか（目的）」を問うことが大切です。それは誰かが勝手につくるのではなく、地域の課題を根拠にしていくこと。そのためにも、話し合いにより地域課題を発掘することが重要なのです。

◎横のつながりをつくる

よく縦割り行政といいますが、実は地域の活動も縦割りの中で成り立っていることが多いのです。例えば「食育」という同じテーマだけをみても地域では食生活改善推進員、PTA、保健推進員、農林水産部門、公民館での事業など、多様な場面で行われていますが、実際はひとつの場所で顔を合わせ一緒に取り組む機会というのはほとんどないのでは

ないでしょうか。縦割りを越えて横のつながりをつくるという工夫をすることで、地域づくりのかたちや機運が変わるきっかけになるでしょう。みんなが力を合わせていくことで、活力ある地域を持続できるようになるのです。



地域づくりは楽しくなければいけません。そのためには「喜ばれた」「だれかの役に立った」などの小さな成功や一人ひとりの思いを大切にすることが何より大切なのです。

たがサポブックレビュー

…閲覧図書コーナーから、スタッフおすすめの1冊を紹介します。



「新・共感のマネジメント —市民活動団体のリーダー、スタッフに 知ってほしい組織運営のポイント—

発行日：2008年3月20日
著者：松本 修一
発行：社会福祉法人大阪ボランティア協会



マネジメントを辞書で引くと「経営を管理すること」と書いてあります。経営と聞いて、まず思い浮かべるのは企業や営利目的といったことで、「NPOとは関係ない」と感じる方がいるかと思えます。しかし、いかなる組織運

営の場においてマネジメントをおろそかにすることはできません。

共感のマネジメントとは、スタッフやメンバーにやりがいと誇りを実感させ、目標を達成するために必要となる、人・物・金・時間・情報といった経営資源を効率的に活用し、相乗効果を出すことを考えていくことです。

とりあえず、NPO、市民活動団体を立ち上げたけど、「人がいない」「お金がない」「どうすれば運営できるの?」といった、さまざまな問題に対しての具体的な解決方法が本書にはわかりやすく載っています。NPOの現場ですぐに活かすことのできるマネジメントの入門編ですので、ぜひこのノウハウを身につけて、あなたの関わる団体をどんどん変えていきましょう!

■図書販売コーナー

NPO・市民活動団体が発行する図書（報告書、パンフレット等）を販売しています。

詳しくはお問い合わせください。

- お預かりします：NPO・市民活動団体が発行する図書等をお預かりし、市民の皆さんへ販売をしています。自分たちの活動を広く知ってもらう機会となるだけでなく、団体の収益にもつながります。
- 購入できます：一般の書店では見つけにくい団体の書籍もあります。購入していただくことで、団体をより深く理解することができるとともに、団体の支援にもつながります。

■閲覧図書コーナー

情報サロン内にある市民活動に関する図書・雑誌が閲覧できます。





* スタッフがおすすめする！たがサポミニ活用術 * 市民活動お役立ち情報

市民活動の基礎情報から団体運営に役立つポイントまで、1枚にまとめたのが「市民活動お役立ち情報」です。1団体に1枚あると便利な情報です。

たがサポ窓口で配布しているほか、たがサポスタッフブログ (<http://blog.canpan.info/tagasapo/>) からダウンロードすることができます。現在は次の5つを配布中です。

① NPOって何だろう？

NPOのことを知りたい方向けに、NPOの基礎情報をまとめました。

② 市民活動団体が利用できる多賀城市内の公共施設情報

多賀城市内にある公共施設で市民活動団体が利用できる印刷機などの機材情報、チラシ・ポスターなどの掲示・配架の状況をまとめました。たがサポとともに他の施設も上手に活用して、活動をステップアップさせていきましょう。

③ メディア活用大作戦

イベントの告知や活動の成果を発信する手段のひとつにメディアの活用があります。新聞やフリーペーパー、テレビに取り上げられることで、新たな協力者や理解者を増やすことにつながるかもしれません。

ん。各メディアに連絡するときには、簡潔に情報を伝えるのがポイントです。

④ 規約の作り方

団体運営の核となる規約の作り方のポイントをまとめました。規約の必要性から作成のポイントまで、新しく団体を立ち上げようとしている方は必読です。

⑤ 報告書の作り方

団体の活動成果を組織内外に伝え、広めていくための報告書の作り方をまとめました。報告書の必要性から作成のポイントまでわかりやすく解説しています。年度末の事業報告作成にも役立つ情報です。



↑ たがサポ窓口で配布中

■ 『たがサポ』とは？

市民の皆さんが行うまちづくりや地域づくりにつながる活動を総合的に応援することを目的として設置した施設です。市民・自治会・学校や企業の皆さんとの間で協働によるまちづくりを推進することも目的としています。

閉館時間：月～土曜日 午前9時から午後9時30分まで
日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで
休館日：毎週水曜日(水曜が休日の場合、翌日)
年末年始(12月28日～1月4日)
交通案内：JR仙石線多賀城駅より徒歩12分
駐車場・駐輪場があります

■ 『たがサポ』の機能って？

①市民活動の場の提供

- ・貸室(有料)
市民活動の研修やイベント、会議等に使用できます。
- ・交流サロン(予約不要・無料)
少人数の打ち合わせや事務作業などに利用できます。
- ・レターケース(無料) ※利用申込受付中
- ・ロッカー(200円/月) ※利用申込受付中
- ・事務用ブース(1,000円/月)
- ・印刷作業室
印刷機(用紙持ち込み/1製版100円/500枚)
コピー機(10円/枚)

②市民活動に関する情報の収集・提供

- ・情報サロン
市民活動に関するさまざまな情報があります。
チラシ・ポスターの受付、図書(閲覧用)、
助成金情報、ボランティア情報、パソコン
(作業・インターネット用/無料)

※団体紹介パンフレット・イベントチラシなどをお持ちください！

- ③市民活動に係る人材の育成・支援
- ④市民・企業・行政の連携及び交流の推進
- ⑤市民活動に関する相談への対応



多賀城市市民活動サポートセンター事務局のスタッフによるブログです。ぜひご覧ください！

<http://blog.canpan.info/tagasapo/>

■ たがサポは社会に支えられています

□自動販売機の設置
たがサポ内に設置している自動販売機の売り上げの一部は、多賀城市内の市民活動の推進のために使われます。協力企業：宮城中央ヤクルト販売(株)

□印刷作業室のコピー機
印刷作業室のコピー機は、コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社の市民活動を応援するという趣旨により、社会貢献価格にてご提供いただいています。



□発行：多賀城市市民活動サポートセンター
〒985-0873 多賀城市中央二丁目25-3
TEL: 022-368-7745 FAX: 022-309-3706

□発行日：2009年2月20日

□編集：特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター